

< 運営推進会議における評価 >

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 北海長正会	事業所名	北広島複合型サービス四恩園
所在地	(〒 061-1137) 北広島市緑陽町 1 丁目 2 番地		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

認知症の方や医療ニーズの高い要介護者の在宅生活を支える「介護と医療の包括サービス」です。
 住み慣れた地域での生活を継続することができるように「通い」を中心にして利用者の状態や希望を踏まえ、「訪問」「泊まり」「看護」サービスを一体的に提供します。なじみの介護・看護職員が個別性の高いサービスを提供し、現場に直結した相談援助で、お客様とご家族の暮らしを支えます。医療機関やご家族と一緒に、看取りの支援も行います。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 12 月 9 日	従業者等自己評価 実施人数	(3) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 2 月 12 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	・事業所パンフレットの完成を目指し、認知度の低い看護小規模多機能居宅介護を多くの方に知っていただけるよう周知に取り組む。	・事業所のパンフレットが完成した。一人でも多くの方に複合型サービス四恩園を知っていただけるよう、周知に努めた。	・パンフレットを見たお客様やご家族様から、とても分かりやすいと評価をいただいた。今後も上手に活用していきたい。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・リハビリの専門職が在籍していないことから、リハビリの専門性を高めるべく、法人作業療法士と連携し、お客様の生活の質を高められるよう取り組んでいく。	・助言内容を受け、福祉用具事業者とも報告連絡相談し、お客様のその時の心身状況に合わせた福祉用具の選定に努めている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・2024年1～2月にかけて、お客様・職員にコロナ陽性者が出た。体調の変化に配慮しつつ、感染対策を実施しながら、お客様に楽しんでいただける行事やレクの企画・運営に取り組んでいきたい。	・万が一感染症が発生しても拡大防止できるよう、消毒や換気を徹底し、どの職員も初期対応がしっかりできるよう、これからも取り組んでいきたい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	・地域密着型の施設であることを念頭に、市内にお住まいのお客様の新規受け入れをスムーズに実施できるよう、他機関とも連携していきたい。	・新規相談受付時には、完成したパンフレットを中心に、より分かりやすく事業所説明ができるようになった。他機関への周知活動もしていきたい。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	・より開かれた介護保険施設になれるよう、お客様はもちろんのこと、ご家族様や地域住民に対しても、一つひとつ丁寧な対応を心掛けていきたい。	・お客様やご家族様には常に一つひとつ丁寧な対応を心掛けてきた。これからも住み慣れた地域での生活を継続できるよう支援していきたい。	・丁寧なケアがお客様の笑顔に繋がることを職員全員が十分に理解し、お客様・ご家族様と関わっていきたい。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> 各項目について、自己評価内容を追加説明する。 概ねよくできているとの評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状維持にとどまらず、介護福祉士や介護支援専門員など、一つ先の資格取得を目指すなど、お客様や制度の理解を深め、よりよいサービス提供ができるよう努めていく。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> 各項目について、自己評価内容を追加説明する。 概ねよくできているとの評価。 丁寧な食事、入浴、排泄ケアを目標とし、認知症ケアにも取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様やご家族様に喜んでいただけるよう、引き続き丁寧な三大ケアを実践していくとともに、お客様一人ひとりに対応した認知症ケアを職員全員ができるよう、取り組んでいきたい。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> 各項目について、自己評価内容を追加説明する。 概ねよくできているとの評価。 コロナが5類に移行。感染対策を講じつつ、行事の企画運営、地域行事へ参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> with コロナという時代。継続した消毒や換気を徹底し行ないながら、コロナ前の活動を再開していくことができるように、他機関、多職種とも積極的に連携していきたい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> 各項目について、自己評価内容を追加説明する。 概ねよくできているとの評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内で唯一の看護小規模多機能事業所であるが、認知度が低い現状である。完成したパンフレットを活用しつつ、地道な周知活動を継続していきたい。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> 各項目について、自己評価内容を追加説明する。 概ねよくできているとの評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の拡大から、一時通所事業を停止することがあった。お客様に安心してサービスをご利用いただけるよう、これからもチーム力を意識しながら、お客様の役に立てるサービスを提供していきたい。 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○				・自己評価の通り。完成したパンフレットを上手に活用し、今後も事業所の周知に努めたい。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				・自己評価の通り。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通		○			・自己評価の通り。お客様や	✓ 「育成計画の作成」の状況につい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している					制度の理解を深め、よりよいサービス提供ができるよう努めていく。	て、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	○				・自己評価の通り。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				・自己評価の通り。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○				・自己評価の通り。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 反映させている。都度会議録は職員に回覧。議事・会議録はいつでも誰でも閲覧できるよう工夫。ご意見を真摯に受け止め励みとし、サービス提供に努めている。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	○				・自己評価の通り。職員のご家族が急病で、労働時間の配慮を継続している。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> BCPに関する規定を策定した。継続して公休や有休、病気休暇の取得ができる環境を整えている。					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				・自己評価の通り。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 複合型サービス職員全体会議において、ケース検討を行うなど、状況に変化が生じた際は、ケアの内容を振り返り、統一					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		したケアの実践ができるよう取り組んでいる。サ高住や訪問看護など他事業所との連携も密に行った。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				・ 自己評価の通り。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ヒヤリハット報告から、どのように事故を防ぐことができたのかを検証し、今後の対応を職員全員が把握し、実践できるよう取り組んでいる。交通事故防止についても研修を実施するなど対応継続している。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	○				・ 自己評価の通り。訓練に留まらず、いざという時でも落ち着いて行動できるよう、緊急時マニュアルを用いた課内研修などを継続しておこなう。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 法人の災害時マニュアルが整備されている。緊急時もサービス提供できるよう対策を取っている。避難訓練や緊急時連絡網の訓練も実施した。					
II サービス提供等の評価							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 概ね行っている。日中の通所サービスだけではなく、宿泊サービスのご利用やご家族様からのご自宅での生活のご様子の聞き取りから、一日を通じた生活サイクルからアセスメントを実施している。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 専門職としての特性を十分に理解し、ミーティングや会議の場において意見を出し合い行っている。多職種の視点からの意見を尊重しつつ、お客様がより良い生活を送れるよう取り組んでいきたい。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	目標の達成に向けた計画が作成されている	[具体的な状況・取組内容] 行っている。ケアプランに基づき、個別に援助計画を作成し、お客様・ご家族様に説明・同意いただいている。					利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	○				<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の通り。他部署のリハビリ専門職や福祉用具事業などと連携し、お客様より安心安全に生活を送ることができるよう、今後も取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	○				<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の通り。 	<ul style="list-style-type: none"> 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○				・自己評価の通り。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> お客様の心身状態変化に合わせ、ご家族様とも報告連絡相談をし、臨機応変なサービス調整・提供を心掛けている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○				・自己評価の通り。急な宿泊や通所のご利用希望についても、今後できる限りの対応をさせていただきたい。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> モニタリング訪問や送迎時など、継続してご家族様から生活状況の把握を実施。随時相談援助を行っている。事業所での面会や短時間であってもご自宅に外出できる体制から、ご家族様と過ごす時間の確保に努めている。					
② 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	○				・自己評価の通り。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期的に書面での報告、病状変化について緊急時は電話連絡、往診時に口頭での報告、それ以外は受診時に手紙を用意するなど、主治医との連携に努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		整えている。					の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・自己評価の通り。パンフレットを活用し、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、医療機関などへに対し事業所の周知活動を行っていきたい。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 都度説明を行っている。複合型サービスのパンフレットを作成し、わかりやすく説明できるようになった。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				・自己評価の通り。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 行っている。特にプラン更新時は詳しく説明するよう努めている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				・自己評価の通り。ご家族様からの問い合わせなどについては、その都度できる限り丁寧な説明や対応をさせていただいている。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 行っている。ケアなどの方法について質問があった際は、ご自宅を訪問しケアの方法をレクチャーすることもあった。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	○				・自己評価の通り。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 行っている。特にモニタリング時には意向を確認するようにしている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	○				・自己評価の通り。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 行っている。入所施設ではないため、ご家族様の介護力を見極めた上で、次の生活の場を想定し支援するよう心掛けている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○				・自己評価の通り。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
	[具体的な状況・取組内容] 平成30年に1件看取りを行い実施したが、その後はなし。ニーズの応えられるよう、準備をしておかねばならない。						
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等	○				・自己評価の通り。退院前のカンファレンスに参加させ	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	[具体的な状況・取組内容] 病院から多く相談をいただく。複合型サービスの機能を改めて紹介。在宅復帰までの道のをイメージしやすいように、丁寧な関わりに努めている。				ていただいたり、退院後も医療機関と連携するなど対応している。	ます ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
③ 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			・自己評価の通り。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
④ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			・自己評価の通り。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、	○				・自己評価の通り。ともにと	✓ 「利用者のために必要となる、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
	利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている					<p>いう社会資源を存分に活かし、今後もお客様と地域住民との交流を図ることができる機会を多く持ちたい。</p>	<p>護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				<p>・自己評価の通り。</p>	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] 事業所内でいつでも誰でも閲覧可能。職員については毎回、議事・会議録を回覧している。</p>					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	○				<p>・自己評価の通り。</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] 誰が見てもわかりやすいパンフレットが完成した。上手に活用しながら、複合型</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		サービスの周知に取り組んでいきたい。					✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
				○			できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 病院併設ではないため、受け入れは難しい。					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご利用いただいているお客様の看取り支援は、お客様・ご家族様のご意向を確認しつつ、ご自宅や複合型事業所で医療体制が取れるよう準備している。					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲	○				・自己評価の通り。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 充分理解している。今後は積極的にサービスネット居宅部会に参加するなどし、複合型サービスの周知や最新の介護保険情報の収集に努めたいと考えている。					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の通り。相談いただいたケースについては、どうすれば受け入れができるのかという前向き思考を常に持ち続けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の通り。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		として機能するよう活動している。					<p>要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	○				<p>・ 自己評価の通り。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ご家族様から介助方法などについて問い合わせがある時は、電話やご自宅へ出向き助言することがあった。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ほぼ達成されている。</p>	・自己評価の通り。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ほぼ達成されている。</p>	・自己評価の通り。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成さ</p>	・自己評価の通り。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービス

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	れている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ケアマネジャーのモニタリング等において、安心感が得られているとの確認をしている。		の提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」